

平成24年度第1回土岐市行財政改革懇談会次第

平成24年8月8日(水) 午後2時～
土岐市文化プラザ 特別会議室

1. 開 会

2. 総務部長あいさつ

3. 会長あいさつ

4. 議 事

(1) 土岐市の現状について

(2) 前年度の懇談会で出された意見及びその対応

(3) 第5次土岐市行財政改革大綱 平成23年度実施状況

(4) その他

5. 閉 会

平成24年度 第1回土岐市行財政改革懇談会 会議録（要約）

日時：平成24年8月8日（水） 14：00～16：15

場所：土岐市文化プラザ 特別会議室

発言者	内 容
	(議題1 土岐市の現状について事務局より説明)
委員	資料6ページの市民一人あたり市税収入について、土岐市の税収が少ないのは、市民の所得が低いということか。
事務局	市民税(個人)については、少ない理由として所得が低いことが考えられる。
委員	資料7ページの市債残高について、市債残高は減っているが、言い換えれば何も事業を行っていないということではないか。
事務局	必要な事業については、市債を発行して実施していくこととしている。
委員	資料9ページで、他市と比較して千人あたりの職員数が多いのはなぜか。
事務局	ごみ処理や保育園など直営の施設が多いことなどが理由としてあげられる。
委員	このままでは土岐市の職員数は多いように捉えられるため、資料にもただし書き等で多い理由や状況を示しておくべきではないか。土岐市はごみ袋の料金も安いなどいい面も多い。
委員	資料10ページのラスパイレス指数について、土岐市の職員構成によって数値が高くなるという理由を聞いたが、理由はあってもこの資料を見る限り他市よりも高い給料であるように捉えられる。
事務局	給与等については特別土岐市が高いわけではない。職員構成のほか、恵那市や中津川市などは合併により数値が下がっていることも影響していると考えられる。
委員	資料9～10ページにある普通会計と全会計の違いは何か。
事務局	普通会計は総務やごみ処理、土木や教育など一般的な市の仕事を行う職員で、全会計には病院や上下水道など企業会計の職員も含まれる。
委員	職員数について、臨時職員についても含めたデータを示していただきたい。
事務局	どのようなデータを出せるか確認させていただく。
	(議題2 前年度の意見及び対応について事務局より説明)
委員	昨年行われたJCのイベントについて、食数が少なかったことや陶器まつりとの調整ができていなかったこと、参加店舗が関係者に限られていたことなど問題点が見られた。こうした問題について、市も補助金を出していたが、市としてはどのように考えているか。
事務局	まちづくりについては各団体で行っていただくもので、行政が指示を出すべきではないと考える。いただいた意見については今後の参考としたい。
会長	可能であれば、イベント等の際には全市的な調整を図れるよう行政も関わっていただきたい。
委員	昨年のJCのイベントは一時的なイベントになっており、中長期的な視野に立っていない。まちづくりの一助にはなっていないため、もっと組織的な活動を行うことや目標・方針を立てて活動するよう行政からも指導をお願いしたい。
事務局	今後は先を見据えた活動となるよう考えていきたい。
委員	現状のJCの組織体制では単発のイベントしかできないと思われる。ただ、まちの活性化のため「何かやらないと」という思いは理解できる。
会長	イベント等に対する市のスタンス・方針はどのようになっているか。
事務局	地域での継続的な活動を支援していきたいと考えており、そのきっかけづくりを支援していきたいと考えている。
委員	土岐市では現在各町単位で活動しているが、町をまたいだ活動をするのは各町単位では難しい。市としてどのように考えているか。
事務局	現在の市の組織ではまちづくりに関する窓口が分散しており、総合的に対応できていない。今後の組織の見直しの中で、まちづくりの総合的な窓口の部署の設置を検討していきたい。

発言者	内 容
委員	例えば何らかの活動をする際に、どこに相談するのか、どんな助成金があるのか、が分からない。市からの情報提供をお願いしたい。
委員	産業振興課など効率化のために組織を統合したとあるが、職員の意識は統合前と変わっていないと感じた。
事務局	組織の見直しの意味を職員に理解させられるよう調整する。
委員	産婦人科について、開業医の確保を目指しているようだが、総合病院の産科を再開させることは考えていないか。
事務局	総合病院で産科を再開する場合は複数の医師が必要となるため難しい。全国的な産科医不足の中で、可能な取り組みを検討している。
会長	その取り組みについて、時期についての具体的な目処はあるか。
事務局	時期については明言できない。
委員	「いつまでに」という目標は必要であり、今後市として目標設定をしていただきたい。
事務局	今後検討させていただく。
委員	総合病院について、患者に入院したいと思われるような病院となるよう施設整備を進めるべきではないか。
事務局	病院については、病院改革プランに基づき取り組みを進めている。高度医療機器の整備や救急外来の整備などハード面の整備は進めているが、接遇等のソフト面での部分を今後より一層改善していくこととしている。
会長	各事業や取り組みなどについては、過程や実施時期などを明確にして計画を定めるようお願いする。
委員	定住促進奨励金について、制度のアピールが必要と思われるが、どのように周知を行っているか。
事務局	制度が始まった4月上旬にハウジングセンターや不動産会社、建設会社にダイレクトメールを送付したり、市内で立地された企業へ情報提供を行った。民間の不動産会社の中には自社の広告に制度の概要を掲載していただいたところもあった。また、転入者にチラシを配布したりするなど周知を行っている。
委員	土岐津町高山地区でのまちづくり活動とはどのような内容か。また、活動されている人はボランティアで行っているのか。
事務局	高山地区では高山城跡に看板を設置したり、物見櫓や木製灯籠を設置するなど積極的な取り組みを行っている。活動の中心となる方はボランティアで活動されている。資金面では市や県の補助金などを活用されている。
委員	個人的には高山地区の取り組みは、生涯学習なのか、地域おこしなのか、営業なのか、目的が分かりにくい。また、活動についての継続性はあるか。
委員	高山地区については純粋にまちづくりの活動をされており、市ももっと育てていくべきである。昨年も提案したが、市と自治会、経済界の3者が連携したまちづくり協議会を立ち上げることが必要ではないか。現在土岐市にはいくつか観光資源があるが、バラバラの状態であるため、連携を図ることが必要である。また、外国人観光客も増えてきており、今後はそういった対応を含め、産業観光の分野はさらに重要になってくると思われる。
事務局	現在、産業振興課において観光振興計画を策定中であるが、市民や各種団体等多くの方から意見をいただきたいと考えている。
会長	市として有機的に資源を結びつける仕組みづくりを今後進めていただきたい。
委員	土岐津の放課後教室を拝見したが、指導される方が子どもにきちんとしつけも教えており素晴らしいと思った。今後も力を入れて取り組んでいただきたい。
会長	こうした取り組みについては市全体に波及するよう努めていただきたい。
委員	市税について、口座振替できるのに知らない方が多い。もっと周知し、収納率向上のためにも口座振替を進めていただきたい。
事務局	現在の状況を確認し、周知させていただく。

発言者	内 容
	(議題3 第5次土岐市行財政改革大綱 平成23年度実施状況について事務局より説明)
委員	有料広告について、市としての広告掲載の基準を明確にし、浄化センターの壁面を利用するなど広告効果の高い公共施設を有効活用してはどうか。また、広報(広域だより含む)に広告を掲載することも検討してはどうか。その他、現在普及が進んでいる太陽光発電パネルの設置のため、公共施設の屋根を貸し出すなども検討してはどうか。
事務局	これまでも広告掲載事業を行っており、広告掲載の基準はすでに整備している。提案された内容については今後検討させていただく。
会長	行政評価制度について、事務事業評価については廃止したのか。
事務局	評価表の付表として一覧の形で個別の事務事業について評価することとしている。
委員	市のホームページについて、出された意見については市から回答されているか。また、その回答は公表されているか。
事務局	意見に対しては直接回答させていただいている。ただ、内容的に個別のものが多いため公表はしていないが、共通するような内容については、主な意見という形で公表している。
	(議題4 その他)
委員	市の美術展など入賞者に賞金が出るものがあるが、生涯学習の観点から望ましくないのではないか。また、応募者の中にはプロの方もいると聞く。
事務局	ご指摘の件については担当課に伝え、判断させていただく。
委員	先ほどの話にもあったが、職員削減について、臨時職員で代替する場合は資料にその旨を掲載するようにしていただきたい。
会長	職員削減について、そのプロセスを可能であれば明示していただきたい。
委員	まちづくりについて、可児市ではボランティアと連携した活動を行っている。土岐市でもボランティアを活用した取り組み、例えば行政をサポートするようなボランティアの活用を検討してはどうか。主に退職された方など市民の生きがいづくりと市の財政負担軽減にもつながると思われる。
委員	人口減少について、土岐市の立地条件は良く、もっと条件の悪いところは数多くある。行政をはじめとして取り組みが不足しているのではないか。今回の回答についても、もっと踏み込んだ取り組みが必要であると感じた。 個人的には地場産業に頼りすぎてきたことも原因として考えているが、行政だけの役割ではないが、もっと積極的な取り組みをお願いしたい。
委員	拡大や発展も必要であるが、今後は日本全体の人口が減っていく中、持続可能な社会として減った人口でどうしていくかも考えるべきではないか。市全体で市民を交えて話し合う場を設けるなど検討していただきたい。
委員	土岐市に魅力はあると言われるが、なぜ駅前等の開発が進まないのか。多治見駅周辺では高齢者のケア付き住宅が数多く建設されるなど開発が進んでいる。
委員	土岐市合併前の旧8ヶ町村の名残があることも理由の一つと考える。地域ごとに対抗意識があり、特定の地域だけの発展を望まない人もいると考えられる。
会長	市民の意識を改めていくことも行政に求められるのではないか。
委員	駅前市の玄関であり、市外からは駅を見てその市を判断する。行政として8町均等に対応することも必要であるが、市の玄関である駅前にはもっと力を入れるべきではないか。市長をはじめ職員や市民は土岐市が寂れているということを実感し、声を上げるべきである。
事務局	行政主導では進まないことも多い。まずは市民協働を進めるため、お互いの情報共有を進めていきたい。
会長	本日出された意見を踏まえ、今後の市政運営にあたっていただきたい。
事務局	次回の懇談会については、来年の同時期に開催し、行財政改革大綱の平成24年度の実施状況及び今回の意見に対する取り組み状況について報告させていただく予定である。
委員	次回の懇談会までの間に意見を出したいときはどのようにすべきか。

発言者	内 容
事務局	意見についてはメール等で総合政策課宛に提出いただき、事務局より会長に連絡させていただく。委員の皆さんにはこの会の場だけでなく、市政について多方面から意見をいただきたい。